

はねだ桃園

原発事故による風評を払拭し、「桑折町の美味しいももを全国の人々に届けたい」という思いから、平成28年のGLOBALG. A. P. を始めとして、ASIAGAP、JGAP、ふくしま県GAP(FGAP)も取得。

代表者名：羽根田 幸将	面積：4ha
所在地：福島県伊達郡桑折町	構成員：4名
認証：GLOBALG. A. P. (H28年)、 ASIAGAP(H30年)、JGAP(H30年)、FGAP(H30年)	品目：もも

取組の紹介

【生産工程管理の改善の取組】

○ 食の安全、特に放射性物質対策に関して、①果樹の樹体洗浄など放射性物質の低減対策、②県によるモニタリング検査、③JA等による自主検査により、安全性が確認されていることを、体系的に説明ができるようになった。

【GAPの継続に向けた取組】

○ SNSのチャット機能による従業員間の円滑な情報共有、生育状況や作業記録への反映、病害虫発生状況の共有・把握と農薬使用計画への反映等、スマートフォンの活用により作業負担を軽減。



SNSを活用した情報共有

【生産効率性の向上の取組とその効果】

○ ももの着色促進のための反射シートの準備作業について、シートのほ場間のローテーションを工夫した結果、従前と比べて作業時間を4分の1、作業人員を6割程度まで低減。

【地域の内外への波及効果】

○ 各講演会や報道においてGAP認証取得の経緯や活用方法、メリット等を紹介し、地域内外へのGAPの普及に大きく貢献。



研修会でGAP認証取得を啓発

SNS

Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hnd.momoen/>